

2011年1月27日

全国大学国語教育学会

2010年度 学会通信 第3号

全国大学国語教育学会事務局

新しい歳も一月が過ぎようとしております。会員の皆様にはご清栄のこととお慶び申し上げます。

鳴門大会では村井万里子先生、余郷裕次先生、幾田伸司先生の実行委員会を中心に大会を成功裡に終えることができました。鳴門大会事務局の皆様には大変お世話になりました。記して感謝申し上げます。

学会名簿作成では学会員の皆様のご協力をいただき、ありがとうございました。この名簿にもとづいた理事選挙、理事による理事長選挙と行い、下記に記した通りの結果となりました。次期理事長は筑波大学の塚田泰彦会員に決まりました。

新しい体制は平成23年度、京都大会からとなります。ここに、今年度最後の学会通信をお届けします。来年度の重要な情報が記されておりますので、どうぞ注意深くお読みください。今後とも会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◆選挙結果について

学会事務局・選挙管理委員会

■ 会員による理事選挙、新理事による理事長選挙を経て、新理事長と新理事が下記のように選出されました。

〈理事長〉

○塚田泰彦 16票

大熊徹 3票

2票得票者 4名

投票総数 31票

〈全国区選出理事〉 計18名

有澤俊太郎	大熊 徹	小川雅子	甲斐雄一郎	桑原 隆	高木まさき
田近洵一	塚田泰彦	鶴田清司	寺井正憲	中渕正堯	長崎伸仁
難波博孝	府川源一郎	堀江祐爾	望月善次	山元隆春	吉田裕久

〈地区選出理事〉 各地区2名（関東地区のみ3名） 計19名

[北海道地区] 上田祐二 内藤一志

[東北地区] 阿部 昇 藤井知弘

[関東地区] 島田康行 中村敦雄 町田守弘

[北陸地区]	常木正則	藤森裕治
[東海地区]	佐藤洋一	安 直哉
[近畿地区]	植山俊宏	吉川芳則
[中国地区]	足立悦男	田中宏幸
[四国地区]	三浦和尚	村井万里子
[九州地区]	河野順子	山元悦子

■この後、2月上旬に新理事の互選により、常任理事選挙が行われ、5名が選出されます。

◆第120回京都大会について（第1次案内）

京都大会事務局実行委員長 植山俊宏（京都教育大学）

来年度春に開催される京都大会について、大会事務局からご案内いたします。

■第120回大会は、2011年5月28日（土）、5月29日（日）に京都教育大学にて開催いたします。

編集委員会、常任理事会は、前日の5月27日（金）「京都センチュリーホテル」（JR京都駅徒歩2分）にて行います。なお、編集委員会、常任理事会、理事会の議事案内、出欠確認は学会事務局からご連絡いたします。

■学会参加については、事前申し込みとなります。

（JTBより参加申込書等が、学会員に郵送されます。3月末予定。）

■大会2日間の概要（予定）

会場：京都教育大学（2日間とも）

<第1日目 5月28日（土）>

午 前：自由研究発表（共通講義棟F棟）
 昼：理事会（共通講義棟F棟11）
 午 後：総会（共通講義棟F棟大講義室2）
 パネルディスカッション：伝統的な言語文化の言語活動を考える
 —創作学習の視点から—

懇親会＝京都教育大学生協

<第2日目 5月29日（日）>

午 前：課題研究発表：「メディア」から国語教育の研究と実践を展望する（2）
 —教材開発・カリキュラム開発を中心に—
 （共通講義棟F棟大講義室2）
 午 後：自由研究発表（共通講義棟F棟）
 公開講座：国語教科書はいま（仮題）
 （自由研究発表との同時開催）

※使用教室等、今後一部変更があるかもしれませんが、ご了承ください。

◆第120回京都大会・自由研究発表者の募集について

1. 募集区分 自由研究発表

2. 発表等の申し込み手順

(1) 往復はがきに次の事項をご記入の上、お願いいたします。

- ①発表区分 自由研究発表
- ②発表題目（申し込み後の変更は不可）
- ③氏名（ふりがなを必ずつける）
- ④所属（職名，電話番号，メールアドレス）
- ⑤住所，電話番号，緊急時連絡先（携帯電話）

＊返信はがきに，自分宛の郵便番号，住所，氏名を必ず記入して下さい。

(2) 申し込み先(京都大会事務局)

〒612-8522 京都府京都市伏見区深草藤森町1
京都教育大学 国文学科 寺田 守 研究室宛

(3) 研究発表申し込み締め切り

3月4日(金) 必着 締め切り後は受け付けません。

(4) 発表要旨集の原稿締め切り

4月8日(金) 必着 締め切り後のものについては題目・所属・氏名のみの掲載となります。

3. 大会全般についての問い合わせ先（できるだけメールにてお問い合わせください。）

植山 俊宏 京都教育大学（研究室）
TEL& FAX 075-644-8236
E-mail ueyama@kyokyo-u.ac.jp
寺田 守 京都教育大学（研究室）
TEL& FAX 075-644-8235
E-mail mterada@kyokyo-u.ac.jp

◆公開講座開催のご案内（京都大会）

研究部門 小川雅子（山形大学）

■第120回京都大会にあわせて、下記の要領で第7回公開講座を開催いたします。会員、非会員を問わず参加が可能です。奮ってご参加ください。

■第7回公開講座（予定）

- 1 テーマ 国語教科書はいま（仮題）
- 2 登壇者
 - ・教科書編集者 田中倫紀（学校図書） 高橋正積（三省堂） 小野貴（教育出版）
飯田順子（光村図書） 岡本哲明（東京書籍）
 - ・指定討論者 甲斐雄一郎（筑波大学）
 - ・コーディネーター 吉田裕久（広島大学）
- 3 日時 2011年5月29日（日）13時30分～16時（京都大会2日目午後）
- 4 会場 京都教育大学 共通講義棟F）
- 5 参加対象 学会員および参加希望者 ※公開講座のため参加費無料

◆『国語科教育』第70集 投稿募集について

第70集編集委員長 高木まさき（横浜国立大学）

■下記の要領により、『国語科教育』第70集の原稿を募集いたします。投稿要領を遵守いただき、ご投稿ください。募集要領は学会ホームページにも記載されております。

なお、今号に掲載される論文から、「全国大学国語教育学会優秀論文賞」の選考対象となる予定です。

1. 投稿論文は、2011年3月1日（火）から3月31日（木）（消印有効）までの期間に受け付けます。
2. 原稿の送付先は下記の通りです。

〒739-8524 東広島市鏡山一丁目1番1号

広島大学大学院教育学研究科国語文化教育教育学講座内

全国大学国語教育学会事務局

3. 封書にはかならず「投稿原稿在中」と朱書き書留で郵送してください。
4. 原稿は、4部（コピー可）送付してください。
（1）そのうちの1部には、題名のあとに氏名を記し、論文の最末尾に（ ）をつけて所属を、行をかえて原稿発送年月日を、それぞれ1行ずつ取って記してください。

また、その論文の前に、氏名・所属・連絡先を明記した用紙を添付してください。

(2) あとの3部については、氏名・所属等、書き手を特定できる情報は書かないでください。

5. 原稿は、原則としてワープロまたはパソコンで打ち出し、電子媒体を添えて送ってください。その際、電子媒体に機種名・ソフト名を書き添えてください。(例:「一太郎 2007」)

6. 原稿は未発表のものに限ります。ただし、口頭発表やプリント類の場合は、この限りではありません。

7. 募集の枠を「研究論文」「実践論文」「資料」の三つとしますので、どの枠に応募したものであるかがわかるように、そのことを題名の前に明記しておいてください。

ただし、投稿論文の採択の枠付けについては、編集委員会におまかせください。

8. 図表などの類は、本文の中に含めて計算し、本文内に該当箇所を明示してください。なお、縮小する場合は、読者が判読できないなどということがないように、8割以上の縮小率で収めてください。また、「注」は本文と同じ書式でそろえてください。

付記

(1) 紀要のテンプレートが学会ホームページにあります。次のURLのリンク「テンプレート集」から参照してください。 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/nace/>

(2) 引用文献、参考文献は、原稿末尾に「注」で明記してください。

(3) 原稿の返却はいたしません。控えをとっておいてください。

(4) 原稿の郵送は、書留をお願いします。

(5) 連続掲載は、原則として2回までとなっています。

<参考> 『国語科教育』投稿要領

1 論文原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りでない。

2 論文原稿は、縦書きまたは横書きで原則としてワープロを使用する。

3 編集委員会において特に枚数を指定するもの以外の論文原稿は、原則として400字詰原稿用紙ほぼ40枚(8ページ分)以内とし、1ページあたりの字数・行数を次のようにする。

(1) 横書きの場合

23字×44行×2段(1ページ2,024字、ただし最初の1ページは、題目・氏名のスペースとして7行2段をとる。)

(2) 縦書きの場合

33字×31行×2段(1ページ2,046字、ただし最初の1ページは、題目・氏名のスペースとして7行2段をとる。)

*引用および注の文字ポイントは本文と同じとする。ただし、図表についてはこの限りではない。

4 論文原稿は4部(複写でよい)送付するものとする。原稿は原則として返却しない。

5 原稿は、氏名、所属、連絡先を付記し、全国大学国語教育学会事務局に送付するものとする。

- 6 投稿論文は、上期においては8月1日から8月31日までの期間、下期においては3月1日から3月31日までの期間に受け付けるものとする。

◆第119回鳴門大会総会議事録

2010年10月30日（土）鳴門教育大学講堂

総会に先立ち、村井万里子鳴門大会実行委員長（鳴門教育大学）が挨拶を行い、事前申し込み190名、当日63名、合計約250名の参加者があったことが報告された。その後、中瀬正堯常任理事（前兵庫教育大学）の進行で、慣例に従い、総会議長として前回大会開催地区（関東地区）の町田守弘理事（早稲田大学）を選出し、2010年度第2回総会を開催した。

I 議事

1. 2010年度中間事業報告

2. 2010年度中間会計報告

山元隆春事務局長（広島大学）から、資料に基づき、今年度の事業および会計の中間報告がなされるとともに、上谷順三郎（鹿児島大学）、笠井正信（東京学芸大学附属世田谷中学校）両氏により監査を受けたこともあわせて報告された。

→承認された。

3. 今後の学会開催について

吉田理事長から、来年度以降の下記の学会開催予定について、確認がなされた。

吉田理事長から、来年度以降の下記の学会開催予定について、確認がなされた。

2011年 第120回大会：京都教育大学 第121回大会：高知大学

2012年 第122回大会：筑波大学 第123回大会：富山大学

2013年 第124回大会：弘前大学 第125回大会：広島大学

また、次回大会開催校の植山俊宏氏（京都教育大学）が、下記のような開催計画の提案を口頭で行った。

日程：2011年5月28日（土）、29日（日）

会場：京都教育大学

内容：1日目（午前）自由研究発表

（午後）シンポジウム（伝統的な言語文化、創作をテーマに計画中）

2日目（午前）課題研究 （午後）自由研究発表／公開講座（同時開催）

→承認された。

4 『国語科教育』第69集編集状況等について

村井編集委員長から、前日の編集委員会の審議について、下記のような報告がなされた。

- ・投稿数32編（実践論文4）のうち、採択1編、修正採択9編（研究論文6、実践論文1、資料2）。
- ・書評対象図書および執筆者の決定。

浜本純逸監修『文学の授業づくりハンドブック』全4巻，2010年，書評執筆者：大内善一（茨城大学）

吉田裕久『占領下沖縄・奄美国語教科書研究』風間書房，2010年，書評執筆者：甲斐雄一郎（筑波大学）

また，次のような留意点・変更点が述べられた。

- ・投稿要領の遵守。
- ・募集要領における「フロッピー」を「電子媒体」に変更する。

→承認された。

5. 学会名簿の作成について

山元事務局長から，資料に基づき会員情報の登録等名簿作成の進捗状況について説明がなされた。

→承認された。

6. 選挙について

山元事務局長から，資料に基づいて今後の選挙の手順およびスケジュールについて，説明がなされた。

→承認された。

7. 研究奨励賞について

担当の有澤俊太郎常任理事（上越教育大学）から，資料に基づき，「全国大学国語教育学会優秀論文賞」の規定について，「二，趣旨」の「国語科教育」を「国語教育」と修正した経緯，「七，庶務」における誤字の訂正とともに，提案が行われた。

→修正点とともに，承認された。

II 報告

1. 研究部門

研究部門担当の小川雅子理事（山形大学）から，次の事項について報告がなされた。

- ・第119回鳴門大会および第120回京都大会における課題研究と公開講座の実施計画。
- ・課題研究の成果『国語科教師の実践的力量をどう育むか』（明治図書）の出版計画。

2. 広報部門

広報部門担当の松山雅子常任理事（大阪教育大学）から，『国語科教育』第1～60集の目次英訳が学会HPに掲載されたことの報告がなされた。あわせて，英文ホームページ作成に向け，諸外国の関係機関HPとのリンクなど掲載情報の収集依頼があった。

3. テキスト委員会

担当の世羅博昭常任理事（四国大学）から，『新たな時代を拓く中学校・高等学校国語科教育』（学芸図書）の刊行（11月中旬予定）について報告がなされた。

4. その他

（1）学会出版物の刊行について

吉田理事長から，『国語学力調査の意義と問題』（明治図書）の刊行と会員への販売状況について報告がなされた。

(2)『国語科教育学研究の成果と展望』第二版の刊行について

担当の望月善次常任理事（盛岡大学）から、『国語科教育学研究の成果と展望』第二版の編集・刊行スケジュールについて説明がなされた。

以上

◆新入会員の紹介

(2010 年 10 月 29 日常任理事会承認分)

*個人情報保護のためPDF版では削除してあります。

◆会費納入のお願い

学会事務局

宛名ラベルに現在の会費納入状況を記させていただくとともに、未納分のおありの方には、郵便振替用紙を同封しています。至急下記口座宛お振り込みをお願いいたします。

なお、会則に従い、２年度分以上未納の方には、本通信のみをお送りし、学会誌はお送りしていません。また、学会費未納期間が３年以上に渡りますと、会員資格を失うことになります。本会の運営は会費によって支えられています。ご協力をお願いいたします。

<口座番号>

郵便振替口座番号 〇 1 3 7 0 - 4 - 7 0 2 2 3

加入者名 全国大学国語教育学会

◆事務局からのご挨拶

このたびの理事長選挙の結果、本号に記されていますように塚田泰彦会員（筑波大学）が理事長に選出されました。これに伴い、広島大学事務局はこの３月を以てその任を終えることとなります。2008年に岩手大学事務局からお仕事を引き継いで３年が経ちました。この間、会員の皆様には会の運営についてご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございました。

前理事長の望月善次会員をはじめとして、前事務局の藤井知弘会員、小浦啓子会員、福島雪江さんにはいろいろな面で教えを受けました。岩手事務局に作っていただいた土台のもと、安定した運営が可能になったと考えます。改めて感謝申し上げます。

吉田裕久理事長のすぐれたリーダーシップのもとでの３年間でしたが、私が勤務先の附属長を勤めながらの事務局長でありましたので、ご迷惑ばかりかける日々でありました。幸いにも、幹事の間瀬茂夫会員、奥美里さんという有能なお二人に助けていただきました。間瀬

会員には、本務のかたわら、多くのお仕事を受け持ってくださいました。そればかりでなく、本来なら事務局長が思い至らねばならない事由に先に気づいていただいたことも少なくありません。奥美里さんは事務局員として間瀬会員の仕事をサポートし、確実に任務を遂行してくださいました。ここに記して、お二人の労をねぎらいたく存じます。

次期の筑波大学事務局体制のもと、学会がさらに発展し、充実していきますように願いつつ、3年間の御礼とさせていただきます。ありがとうございました。（文責 山元隆春）

事務局

事務局長 山元隆春

幹事 間瀬茂夫

事務補佐員 奥 美里